



# とimotoそう 笑顔あふれる女川町

— 女川町復興計画策定委員会による復興計画（案）・最終答申 概要版 —

さる8月10日、第5回女川町復興計画策定委員会が役場会議室において行われ、委員会から町に対して復興計画（案）・最終答申が提出されました。町民の皆さまにその計画（案）の概要をご報告いたします。

## 計画策定の趣旨

平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、本町に大きな被害を及ぼしました。多くの町民の尊い生命を失うとともに、住宅や店舗、加工場等はもちろん、公共施設も被災したことで、町民の日常生活や産業にさまざまな影響を与えました。

本計画は、町民の生活再建を支援しつつ、町の将来像も見据えて策定したものです。本計画に基づき、一日も早く復興し町民が安心して暮らせる町をつくること、さらに町の基幹産業である水産業を活性化させ、現状復旧にとどまらない新しい「港町おながわ」の再生、ふるさと女川の発展をめざします。

## 復興の5つの柱

〈復興方針〉

### 安心・安全な港町づくり《防災》

津波からいかに人や町を守るか、町民の皆さんのいのちを守る「減災」という考え方を基本として、「津波の威力を減らす＝制御」「住宅及び防災上重要な施設の被災を減らす＝防御」そして「避難対策」の3つの要素を重視したまちづくりを進めます。

### 港町産業の再生と発展《産業》

本町の基幹産業は水産業であり、今後将来にわたってもそれは変わりません。復興を契機に、その再生と更なる発展をめざすとともに、水産業の早期再開を図ることが港町女川にとって最重要課題としてとらえています。

### 住みよい港町づくり《住環境》

町民の生活や財産をいかに防御するかという考え方にたち、住環境の整備を図ります。また、この先の高齢化社会を見据えるとともに、若年層の生活も考慮し多様な生活に対応した魅力あるまちづくりをめざします。

### 心身ともに健康なまちづくり《保健・医療・福祉》

復興までの当面の生活の場である応急仮設住宅での心身面に対するケアを行います。また、町立病院を中心とした医療や福祉の充実を図るとともに、津波発生等の緊急時に備えて、設備や体制をさらに充実させます。

### 心豊かな人づくり《人材育成》

町の復興には、将来を担う世代の人材育成も重要です。学校教育や生涯学習を通じて、積極的に町の発展に向けた活動を行える力を養い、まちづくりを担える人材の育成をめざします。また、震災で他地域から応援に駆けつけた多くの人々との出会い、絆を大切に、今後もその交流に努めます。

〈基本目標〉

とimotoそう

笑顔あふれる女川町

女川町復興計画（案）

町では、復興を達成する期間を平成30年度までの8年間とします。さらに8年の期間を、「復旧期」、「基盤整備期」、「本格復興期」の3段階に分け、段階ごとに必要な取り組みを実施します。

**【復旧期2年】**

平成23年度



平成24年度



**【基盤整備期3年】**

平成25年度



平成27年度



**【本格復興期3年】**

平成28年度



平成30年度

**～復旧事業や復興に向けた事業の準備の時期～**

- ◆ 早期の住宅再建から、現在の総合運動場を復興まちづくり先行推進地区（仮称）として、平成24年度には、住宅地造成工事に着手します。
- ◆ 漁港についても、順次復旧工事に着手します。
- ◆ 漁業は、サンマ漁や養殖業の早期再開をめざし、仮設加工場等による操業再開、さらにその拡充も図っていきます。商工・サービス業においても、仮設店舗による営業再開を進めます。
- ◆ 保健・医療・福祉や教育の分野では、まず現施設の復旧をめざすとともに、応急仮設住宅における健康相談・心のケアなどの対応を継続して実施していきます。

**～町の基盤の再建・整備の時期～**

- ◆ 現総合運動場では、先行して住宅建設を開始します。
- ◆ 町中心部の浸水区域では、かさ上げや盛土工事も本格化し、造成が完成した用地では公営住宅等の建設を進めます。
- ◆ 湾口防波堤等の土木構造物の復旧工事も進み、防潮堤や防波堤は平成26年度の完成予定をめざします。

**～整備された基盤において、地域の価値を高めていく時期～**

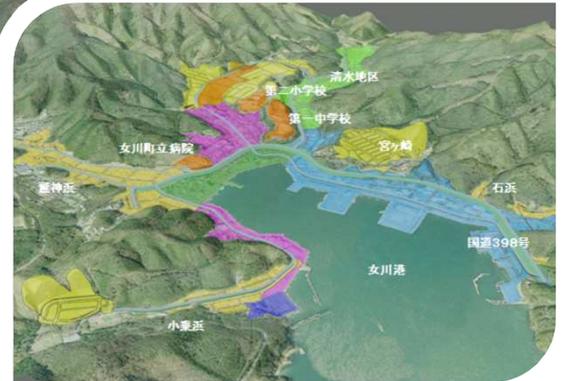
- ◆ 基盤整備も完了し、本格的な復興まちづくりに向け、住宅や各種施設の建設が進みます。
- ◆ 市場や水産加工場、商店街なども本格再開、公共交通機関も稼働、町民の生活も安定し、町にも活気が戻ってきます。
- ◆ 観光産業も本格的に再開し、観光客や修学旅行生も数多く訪れています。また、学術研究拠点の整備に伴い、国内外からの研究者も来訪しています。

**平成30年 女川に新しい街並みが誕生します**

## 町中心部の土地利用ゾーニングイメージ

### 復興の考え方

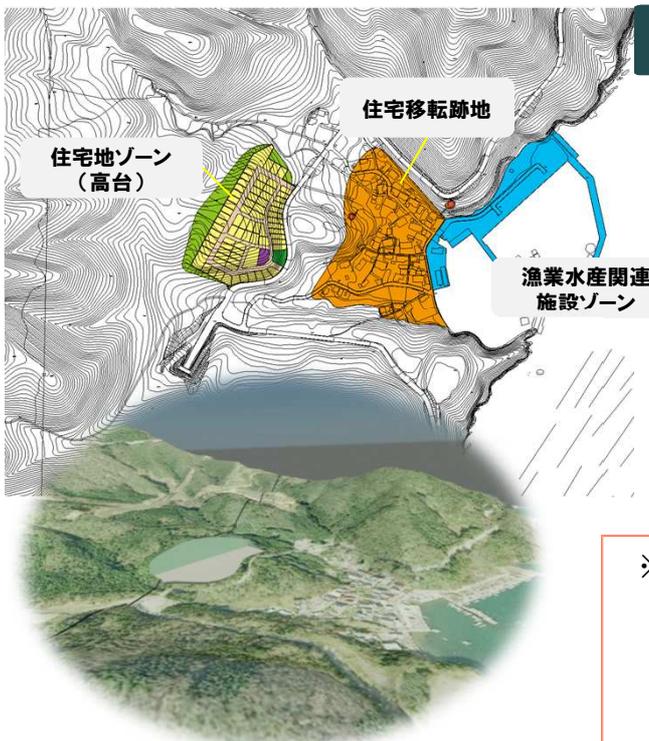
- 現市街地の浸水区域は、盛り土などの多重防御で津波被害の軽減を図ります。
- 現市街地周辺の山の造成により、新たな市街地を整備します。
  - ・水産加工ゾーン ⇒ 現漁港・港湾部
  - ・商業観光ゾーン ⇒ 現漁港・港湾部・女川駅周辺
  - ・住宅・商業ゾーン ⇒ 現総合運動場・宮ヶ崎・鷲神浜・小乗浜・旭が丘西部
  - ・公共施設等 ⇒ 現総合運動場南側
- 道路整備
  - ・女川町の主要幹線道路である国道398号を再整備します。
  - ・石巻とのアクセスを確保する国道398号バイパス整備を要望します。



※左の図は、町中心部の土地利用ゾーニングイメージを示したものです。現在検討中の試案であり、今後の町民の方々への意向調査や関係機関等との調整を踏まえながら変更する可能性があります。

## 離半島部の土地利用ゾーニングイメージ

### 復興の考え方



- 居住地は、津波の被害を受けにくい集落背後地の高台への移転を図ります。
- 今後予測される世帯数の減少等を考えると、新しいコミュニティのあり方等を十分に検討していく必要があります。しかしながら、そこに生きる人々の強い意志と願いも尊重されるべきものです。町と各集落は、今後とも話し合いの場を設け、将来の集落について考えることを重ねることにより、新たな漁村像、地区協働のまちづくりに取り組みます。

※左上の図は、集落背後地の高台に居住地を確保するイメージを示したもので、特定の漁村部の計画を示したものではありません。今後の町民の方々との対話や意向調査などを通じて、より安心・安全な集落のあり方を検討していきます。

## 女川町復興計画策定委員会

時期	委員会等の動き	意向把握・周知状況
平成 23 年 5 月	◆第 1 回委員会開催(5 月 1 日) －復興の基本的考え方、方針 ◆第 2 回委員会開催(5 月 9 日) －復興方針(中間答申)	○復興ニュース第 1 号(5 月 2 日) ○復興ニュース第 2 号(5 月 11 日) ◆公聴会開催(5 月 22・27・28 日) －各地域の町民の皆さんや団体と 意見交換を実施
6 月	◆第 3 回委員会開催(6 月 10 日) －復興方針確定	○復興ニュース第 3 号(6 月 11 日)
7 月	◆第 4 回委員会開催(7 月 9 日) －復興計画原案	◆公聴会開催(7 月 20 日～22 日)
8 月	◆第 5 回委員会開催(8 月 10 日) －復興計画(案)とりまとめ (最終答申)	

### ＜女川町復興計画策定委員会メンバー＞ (敬称略)

**会長** 鈴木 浩 [福島大学名誉教授]  
**副会長** 木村 拓郎 [減災・復興支援機構理事長]  
**委員** 木島 明博 [東北大学教授]  
 福留 邦洋 [新潟大学 災害・復興科学研究所  
特任准教授]  
 山田 隆司 [公益社団法人地域医療振興協会  
常務理事]  
 高橋 孝信 [女川魚市場買受人協同組合  
理事長]  
 高橋 正典 [女川町商工会長]  
 鈴木 敬幸 [女川町観光協会会長]  
 阿部 彰喜 [宮城県漁業協同組合女川町支所  
支所運営委員長]  
 齋藤 俊美 [女川町区長会幹事長]  
 横内 静子 [女川町婦人会長]  
 遠藤 信哉 [宮城県土木部次長]

**アドバイザー**  
 首藤 伸夫 [東北大学名誉教授]  
 今野 順夫 [福島大学名誉教授]



- ①：第 1 回復興計画策定委員会(5 月 1 日女川第二小学校)では、復興方針について話し合われたほか、委員全員がヘリコプターに搭乗し、上空から町内一円の被害状況の調査なども行いました。
- ②：第 5 回復興計画策定委員会(8 月 10 日女川町役場)では、鈴木浩会長(手前)から安住宣孝町長に復興計画(案)・最終答申が手渡されました。

## 女川町復興計画公聴会



復興方針や復興計画(案)についての説明と町民の皆さんからの意見をいただくために、離半島部から町中心部の 5ヶ所の会場で 5 月と 7 月に公聴会を開催しました。5 会場各 2 回開催で、延べ 911 人の町民の方々の参加をいただきました。

この公聴会での皆さんからの意見を踏まえ、復興計画(案)をまとめました。

# といもどそう 笑顔あふれる女川町



お問い合わせ先

女川町復興対策室  
TEL : 0225 (54) 3131 FAX : 0225 (53) 5483  
E-mail fukko@town.onagawa.miyagi.jp

女川町震災関連ホームページ  
<http://www.town.onagawa.miyagi.jp/>